

教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー（2024年度）

経済学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

経済学部のカリキュラム・ポリシーは下記のとおりである。

1. 学部ユニット、理論ユニットの科目を履修させた後、地域・国際・金融・公共の各クラスター配置の科目の履修により、卒業後の職業を見据えた応用力・実践力を段階的に養成する。
2. ゼミナール等の少人数教育によって、議論を通じて他者との相互理解を深めるとともに、問題発見能力やコミュニケーション能力等の社会人に必要とされる知識やスキルを身につけさせる。

商学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

商学部では、「産学一如」の理想を実現する人材を育成するために、以下の教育を実施する。

1. 職業人として必要な基礎知識を身につけるために、各コースが提供する基礎科目を学科の全員もしくは学系の全員が履修する。
2. 専門的な知識を身につけるために、各コースにおいて設定されている体系的な専門科目をカリキュラムマップに沿って履修する。
3. 少人数教育を実践するため、すべての学年におけるゼミナールを全員履修とし、問題設定・解決能力や行動力、コミュニケーション能力を養うための教育を行う。
4. 実践力を育成するために、九州ビジネス科目と研修科目を設定する。これらの科目の中から興味・関心に基づいて複数の科目を履修するほか、キャリア演習（実践）については希望する学生が履修できるようにする。
5. 資格取得を目指した資格関連科目を設定し、これらの科目の中から将来の職業選択を見据えて、複数の科目を履修する。

地域共創学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

地域共創学部では、九州産業大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、全学共通の教養科目である基礎教育科目および外国語科目と、本学部の共通科目を含む専門教養科目群の設定により、学部共通の教育方針を明示しつつ、各学科にそれぞれの専門教育科目群を段階的かつ系統的に学ぶことができるようにカリキュラムを構成している。

《観光学科》

大学及び地域共創学部のカリキュラム・ポリシーに基づき、観光学科のカリキュラム・ポリシーを以下のとおり定めている。

1. 観光の基礎を学ぶ学科共通科目を設け、その他各コースの目標に対応した専門科目を配置している。
2. それぞれの専門分野ごとに、基礎、応用、演習と段階的に履修することができるよう体系的に履修科目を配置している。
3. 基礎となる科目は全員履修としている。また演習系科目では、少人数による対話（報告・発表・討論）教育を行っている。

《地域づくり学科》

大学及び地域共創学部のカリキュラム・ポリシーに基づき、地域づくり学科のカリキュラム・ポリシーを以下のとおり定めている。

1. 地域の課題を多面的に解決するために、複数のものの見方を身につける専門横断的な教育。
2. 法学、行政学系の理論と演習科目を配置し、行政の基礎知識を身につける教育。
3. 地域の課題を探る社会調査力と実践的解決力を身につける理論と演習科目を配置し、実践的解決力を涵養する教育。

理工学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

理工学部では、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような教育を実施する。

1. 自然科学の仕組みを理解する幅広い知識を養うためのKSU基盤教育、産業界・地域社会の要望に応えるための専門教育
2. 学部単位で仲間と助け合いながら、チームで課題解決に取り組むプロジェクトデザイン教育
3. 協調性・主体性・積極性・独創性を育み、コミュニケーション力・課題解決力を養い、理工学分野において付加価値が高い技術を生み出すための教育
4. モノづくり等の生産現場で活躍するための教育

《情報科学科》

情報科学科では、学部の要件に加え、次のように科目を編成し、講義で理論・知識の基礎を体系的に身につけるとともに、演習・実験でそれを実践する教育を実施する。

1. 「専門基礎科目」による情報領域の基礎分野の教育
2. 「情報数理科目」による数学的な理論的基礎の幅広い教育
3. 「計算機科学科目」による計算機科学の基礎分野の教育
4. 「専門展開科目」による情報技術及び情報数理の応用分野の教育
5. 「実践力育成科目」による実践的に活用できる人材を育成する教育

《機械工学科》

機械工学科では、学部の要件に加え、次のような教育を実施する。

1. 数学や物理の基礎から、ロボット・メカトロニクスを含む機械工学を段階的に学ぶための教育
2. 産業界で生かせるように、座学のみならず演習・実験・実習を積極的に取り入れた体系的なカリキュラムによる教育
3. 機械、ロボット、生産技術に分けた「コース専門科目」等により現場で役立つ実践力を育成する教育

《電気工学科》

電気工学科では、学部の要件に加え、次のような教育を実施する。

1. 1、2年次には技術者キャリア形成、工学基礎、専門基礎など基礎力養成の教育
2. 3、4年次には電気エネルギー又は通信システムコースの専門を深く学ばせ、また、KSUプロジェクト型教育、実験や卒業研究で実践力修得の教育
3. 演習で資格取得をサポートし、基礎・応用力を伸ばす教育

生命科学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

生命科学部は、ディプロマ・ポリシーを実現するために、次のような教育を実施する。

1. 一般教養科目を通して、社会・文化・自然に関する幅広い視野と教養を身に付ける。
2. 化学又は生物学を基盤とした複数領域の専門科目を通して、応用化学、生命科学又は食品科学分野で必要となる専門知識を身に付ける。
3. 系統立てた複数の実験科目を通して、実験技術や論理的思考力を身に付ける。
4. 卒業研究及び卒研ゼミナールを通して、課題発見能力や問題解決能力を身に付ける。

建築都市工学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

建築都市工学部では、KSU基盤教育と専門科目の正課教育を行うと同時にKSU プロジェクト型教育及びその他の正課外教育を行う。

1. 国土強靱化、インフラ及び建築物の長寿命化、住環境ストックの有効活用などの広く社会の期待に応えるための建築都市工学分野に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、建築都市工学分野において地域に貢献する人材を育成する。

《建築学科》

建築学科では、地方の建設業界で活躍する建築士を目指す建築学科建築基本コース、国際的に通用する建築士を目指す建築学科建築総合コースを設け、建築の計画歴史、環境設備、構造生産に関する専門教育を行う。

1. 広く社会の期待に応えるための建築学に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、建築学分野において地域に貢献する能力を育成する。

《住居・インテリア学科》

住居・インテリア学科では、①空間、②住居、③業務系施設のインテリア、④住居系複合施設のインテリアの設計及び関連する技術・技能に関する専門教育を行う。

1. 広く社会の期待に応えるための住居・インテリア学に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、住居・インテリア学分野において地域に貢献する能力を育成する。

《都市デザイン工学科》

都市デザイン工学科では、従来の土木工学における基礎的学問領域に加え、「土木デザイン」「都市防災」「まちづくり」「環境緑化」分野及び技術士養成プログラムにおいて応用知識やエンジニアリングデザイン能力に関する専門教育を行う。

1. 広く社会の期待に応えるための都市デザイン工学に関する実践的能力を育成する。
2. 豊かな人間性を持って、都市デザイン工学分野において地域に貢献する能力を育成する。

芸術学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

芸術学部は、次の方針で人材を育成する。

1. 芸術の各分野の幅広い知識と技能を通じて、高い知性と豊かな感性を培い、社会と文化の発展に貢献する人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識と各専門分野の教育を行い、「基礎的教養」「専門的知識」「論理的思考力」「実践力」「コミュニケーション力」「主体的行動力」を備えた人間性豊かな人材を育成する。
3. KSUプロジェクト型教育及び多様な専門教育を学び、芸術の各分野で実践できる人材を育成する。

《芸術表現学科》

芸術表現学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、豊かな思考理論を培い、次世代の芸術文化を主体的に創造できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識と芸術表現分野の教育を行い、高度な表現技術と表現技法を備える人材を育成する。
3. 絵画・立体造形・メディア芸術分野のそれぞれの多様な専門科目と高度な技術を学び、芸術表現の分野で実践できる人材を育成する。

《写真・映像メディア学科》

写真・映像メディア学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、幅広い教養を培い、写真、映像を通して社会と文化の発展に貢献できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識と写真、映像メディア分野の教育を行い、自己を発信する技術と技法を備える人材を育成する。
3. 写真、映像メディアそれぞれの多様な専門科目と高度な制作技術を学び、写真・映像メディア分野で実践できる人材を育成する。

《ビジュアルデザイン学科》

ビジュアルデザイン学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、ビジュアルコミュニケーション能力を培い、社会と文化の発展に貢献できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識とビジュアルデザイン分野の教育を行い、高い編集力や伝達力を備える人材を育成する。
3. グラフィック、イラストレーションそれぞれの多様な専門科目と多様な表現技術を学び、ビジュアルデザインの分野で実践できる人材を育成する。

《生活環境デザイン学科》

生活環境デザイン学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、豊かな暮らしや環境をつくる能力を培い、社会と文化の発展に貢献できる人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識と生活環境デザイン分野の教育を行い、高い造形力や構成力等を備える人材を育成する。
3. 工芸、プロダクト、空間演出それぞれの多様な専門科目と多様な技術・技法を学び、生活環境デザインの分野で実践できる人材を育成する。

《ソーシャルデザイン学科》

ソーシャルデザイン学科は、次の方針で人材を育成する。

1. 学際的な教育を通じて、ブランドづくりの能力を培い、地域社会の発展に貢献する人材を育成する。
2. 芸術に関する基盤的な知識とソーシャルデザイン分野の教育を行い、高い情報伝達力や企画構築力を備える人材を育成する。
3. 情報デザイン、地域ブランド企画それぞれの多様な専門科目と多様な技術・技法を学び、ソーシャルデザインの分野で実践できる人材を育成する。

国際文化学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

大学のカリキュラム・ポリシーのもと、全学共通の教養科目である基礎教育科目及び外国語科目の設定により、学部共通の教育方針を明示し、各学科の専門科目群を段階的かつ系統的に学ぶことができるようにカリキュラムを構成している。

1. 諸外国と日本の文化を学び、現代の国際社会への視野を広げる教育
2. 多様な価値観を積極的に受容し考察する力を養う教育
3. グローバル社会で自らの知見を発信する行動力と表現力を養う教育

《国際文化学科》

国際文化学科では、学部の要件に加えて次のような科目からなるカリキュラムを設置している。

1. 現代社会で活躍できる語学力及びコミュニケーション力を養う教育
2. アジアや欧米の文化について幅広い知識を育み、国際社会の理解を促す教育
3. 現地実習等を基に多様な価値観を知り、グローバル社会の問題を理解し解決しようとする行動力を養う教育

《日本文化学科》

大学および学部のカリキュラム・ポリシーに基づき、日本文化学科のカリキュラム・ポリシーを以下のように定めている。

1. 日本文化の専門知識を身につけるため、学科展開科目の中に「日本文学科目」「国語学科目」「民俗学科目」「歴史学科目」の4つの科目群を設け、さらに、応用・実践力を身につけるための「展開共通科目」を設けている。
2. 学科専門科目においては、学生の能動的学修を促し、かつ学修の効果を高めるため、それぞれの分野ごとに履修の順序性を設定し、段階的かつ体系的な履修ができるよう教育課程を編成している。
3. 演習科目においては、学生が主体的な学びを実践できるよう、少人数ゼミナール科目を設け、全学年で必修科目としている。また、実践力を高めるための実地演習科目である「文学実地踏査」を、全学性が履修する選択必修科目として配置している。

人間科学部の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

人間科学部では、九州産業大学のカリキュラム・ポリシーのもとに、全学共通の教養科目である基礎教育科目及び外国語科目と、本学部の共通科目を含む専門基礎科目群の設定により、学部共通の教育方針を明示し、各学科それぞれの専門教育科目群を段階的かつ系統的に学ぶことができるようにカリキュラムを構成している。

《臨床心理学科》

臨床心理学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次のような教育を実施する。

1. 心の問題を持つ人を心理面及び生活面から援助できるために心理学、精神保健福祉学を総合的に学ぶカリキュラムによる教育
2. 公認心理師、精神保健福祉士、臨床心理福祉に分けたコース専門科目により、各現場で活用できる実践力を養成する教育
3. 心の問題を持つ人のコミュニティにおける様々な問題に対応できるように理論系の講義科目のみでなく、演習科目で援助の基礎・応用力を伸ばす教育

《子ども教育学科》

子ども教育学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次のような教育を実施する。

1. 保育者としての基礎的理論や技能を取得する教育
2. 保育現場での子どもの理解を深め、子育て支援力を取得するための教育
3. 特別支援学校教諭一種免許取得及び卒業研究や演習・実習による実践力形成の教育

《スポーツ健康科学科》

スポーツ健康科学科では、大学及び学部のポリシーに加え、次のような教育を実施する。

1. 学際的で専門的な知識をもとに、人々の活動的で健康的な生活を支える力と豊かな発想やコミュニケーション能力によって新たな可能性を開ける教育
2. 新しいスポーツ、健康関連ビジネスに関心を持ち、課題を解決するための企画運営を含めたスポーツマネジメント、健康マネジメント関連科目の体系的な教育
3. スポーツ活動を通じて、指導者として子どもたちの「生きる力」を育成し、適切な指導のもと健康維持・技能向上に貢献できることを目指す教育

GFBP の教育課程編成・実施の方針：カリキュラム・ポリシー

ディプロマ・ポリシーに掲げた目標の達成に向け、GFBP科目と学部横断科目、学科科目を組み合わせ、既存の学部の枠組みを超えた以下のような横断的な教育を実施し、「ビジネス」と「食」、そしてフードビジネスに関連する学びの深化を図る。

1. 初年次教育として、ゼミナールにおいて大学生活における学修の目標を見定め、GFBP科目の履修目的の確認や「学士力」育成を目指し、学部横断科目、学科科目、KSU基盤教育科目及び外国語科目を履修できるように科目を配当する。
2. 2年次からはフードビジネスに関する知識や技能を身に付けることを狙いとし、学科科目とGFBP科目、そして学部横断科目の学修を通して、専門性を高めるとともに自ら問題を発見し解決する能力を高める授業展開とする。
3. 学際的な学びにより新しい価値を創造するスキルの習得を目指し、文理芸融合横断的な教育プログラムを編成する。
4. フードビジネスの専門性の深化を図るため、専属教員による理論・実践融合科目を編成する。
5. 段階的かつ計画的に学びを深めることができるようカリキュラムマップとナンバリング、履修モデルを活用する。
6. グローバルな視点で社会に貢献するために必要な思考力、課題発見力を鍛えるためのフィールドワーク（海外を含む）、英語授業を必須とする。
7. 授業科目の学修成果の評価はルーブリックに基づいて行い、事前にシラバスに示す。